

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	岸和田市 27202
地域名 (地域内農業集落名)	有真香地区 (神須屋町、八田町、真上町、土生滝町、北阪町、阿間河滝町)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	156.1 ha	※
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	128.7 ha	
② 田の面積	103.3 ha	
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	52.8 ha	
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	57.6 ha	
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.4 ha	※
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	62.9 ha	※
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	27.2 ha	※
(備考)遊休農地面積(1号遊休農地)2.2ha		

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は平地部で水稲、丘陵部で野菜、花き、果樹栽培が行われている。</li> <li>・70歳以上で後継者不在の農業者の農地面積が27.2haあり、新たな農地の受けて確保が必要。</li> <li>・地区内32人の担い手(認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者)が利用する農地面積は14.4haあり、効率的かつ安定的な農業経営を図る観点からさらなる集積と集約が必要。</li> <li>・水や農道がないと借り手が見つからないため圃場やパイプライン等の整備の検討が必要。</li> <li>・耕作できていない農地が散見されることから、耕作放棄地とならないような方策が必要。</li> <li>・高齢化等により営農が困難になる人がいることから、そのような農地の耕作を引く受ける仕組みが必要。</li> <li>・農地マッチング制度を知らない人が多いことから、農地を貸したい人と、借りたい人との貸借ができていない農地が見受けられる。</li> <li>・カラス・イノシシ等の鳥獣により農産物が被害に遭っており、わな及び銃器による捕獲を市が大阪府猟友会に委託しているが、鳥獣の個体数及び生息区域の増加に伴って、農産物被害が減らない傾向にある。</li> </ul>
--

地域計画(案)

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	岸和田市 27202
地域名 (地域内農業集落名)	有真香地区 (神須屋町、八田町、真上町、土生滝町、北阪町、阿間河滝町)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	156.1 ha	
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	128.7 ha	
② 田の面積	103.3 ha	
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	52.8 ha	
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	57.6 ha	
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.0 ha	
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	62.9 ha	
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	27.2 ha	
(備考)遊休農地面積(1号遊休農地)2.2ha		

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は平地部で水稲、丘陵部で野菜、花き、果樹栽培が行われている。</li> <li>・70歳以上で後継者不在の農業者の農地面積が27.2haあり、新たな農地の受けて確保が必要。</li> <li>・地区内32人の担い手(認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者)が利用する農地面積は14.4haあり、効率的かつ安定的な農業経営を図る観点からさらなる集積と集約が必要。</li> <li>・水や農道がないと借り手が見つからないため圃場やパイプライン等の整備の検討が必要。</li> <li>・耕作できていない農地が散見されることから、耕作放棄地とならないような方策が必要。</li> <li>・高齢化等により営農が困難になる人がいることから、そのような農地の耕作を引く受ける仕組みが必要。</li> <li>・農地マッチング制度を知らない人が多いことから、農地を貸したい人と、借りたい人との貸借ができていない農地が見受けられる。</li> <li>・カラス・イノシシ等の鳥獣により農産物が被害に遭っており、わな及び銃器による捕獲を市が大阪府猟友会に委託しているが、鳥獣の個体数及び生息区域の増加に伴って、農産物被害が減らない傾向にある。</li> </ul>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項) ※

・担い手への積極的な集積を図るとともに、企業や農業法人を含めた多様な担い手による農業への新規参入を促進し、農地の活用を推進していく。  
・農地マッチング制度の周知を進め、農地バンクを利用した貸借を推進することで、効率的かつ安定的な農業経営を図る。  
・農道整備、水源の確保、圃場・パイプライン整備を含めた基盤整備を検討する。  
・営農が困難になった人の農地を集落内で農業を続ける人が引き受ける仕組みを構築を図る。  
・鳥獣被害軽減のためには、防護・捕獲・地域の環境整備の三本柱を基本とした対策が重要であり、被害を一人ひとりの問題として捉え、集落をあげて取り組めるよう推進する。  
・農産物の高付加価値化、ブランド化を図ることによって収入の増加や生活の安定化を図る。  
・野菜・果樹の品目別の団地化を検討し、北阪観光農園については継続を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

Table with 2 columns: Target description and Value. (1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針. (2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標. (3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標.

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 ※

- (1) 農用地の集積、集団化の取組
(2) 農地中間管理機構の活用方法
(3) 基盤整備事業への取組
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)
Checkboxes for ①鳥獣被害防止対策, ②有機・減農薬・減肥料, ③スマート農業, ④畑地化・輸出等, ⑤果樹等, ⑥燃料・資源作物等, ⑦保全・管理等, ⑧農業用施設, ⑨耕畜連携等, ⑩その他.

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項) ※

・担い手への積極的な集積を図るとともに、企業や農業法人を含めた多様な担い手による農業への新規参入を促進し、農地の活用を推進していく。  
・農地マッチング制度の周知を進め、農地バンクを利用した貸借を推進することで、効率的かつ安定的な農業経営を図る。  
・農道整備、水源の確保、圃場・パイプライン整備を含めた基盤整備を検討する。  
・営農が困難になった人の農地を集落内で農業を続ける人が引き受ける仕組みを構築を図る。  
・鳥獣被害軽減のためには、防護・捕獲・地域の環境整備の三本柱を基本とした対策が重要であり、被害を一人ひとりの問題として捉え、集落をあげて取り組めるよう推進する。  
・農産物の高付加価値化、ブランド化を図ることによって収入の増加や生活の安定化を図る。  
・野菜・果樹の品目別の団地化を検討し、北阪観光農園については継続を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

Table with 2 columns: Target description and Value. (1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針. (2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標. (3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標.

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置 ※

- (1) 農用地の集積、集団化の取組
(2) 農地中間管理機構の活用方法
(3) 基盤整備事業への取組
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)
Checkboxes for ①鳥獣被害防止対策, ②有機・減農薬・減肥料, ③スマート農業, ④畑地化・輸出等, ⑤果樹等, ⑥燃料・資源作物等, ⑦保全・管理等, ⑧農業用施設, ⑨耕畜連携等, ⑩その他.

